

5月31日
発行

愛媛県立中央病院広報誌

いはるびよ

愛媛県立中央病院



2020年
第47号

ご自由にお持ち帰りください



新院長就任挨拶

2020年4月に院長に就任した菅 政治です。就任のご挨拶をさせていただきます。

現在、世界的に流行している新型コロナウイルス感染症は、ここ愛媛でも徐々に広がりを見せ、4月16日には政府による緊急事態宣言の対象地域が愛媛を含む全国に拡大されました。皆さまにおかれましては、感染拡大防止のための外出自粛や「3密」を避ける行動など大変、不自由な生活を送られていることと存じます。

当院は感染症指定医療機関としての役割を十分果たしていく必要がありますが、一方で地域の基幹病院として高度な医療を提供し続けることも重要な役割です。新型コロナウイルス感染症の患者数増加による病院機能の低下を抑制するためには、皆さまお一人お一人の感染防止の取組が何よりのご支援となりますので、ご協力をお願い申し上げます。

当院は、2013年5月に現在の病院に診療機能を移して7年となります。「県民の安心の拠り所となる病院であること」を理念とする多機能病院として、多くの医療スタッフを抱え、県内唯一の高度救命救急センターとして緊急を要する重症患者さんの治療や、総合周産期母子医療センターとして不安を抱える妊婦さんのお産などに、安心・安全な医療を提供できるよう努めています。

また、近年急速に進化する低侵襲かつ良質な医療を提供するため、手術支援ロボット「ダヴィンチ」2台での運用や、従来開放手術であった大動脈弁置換術を経カテーテル的に行う手術(TAVI)など、様々な診療科で高度で新しい医療の導入を積極的に進めています。これらの高度な医療をより多くの患者さんに提供するためには、大規模病院として、地域の医療機関と緊密に連携し、手術や検査は当院で、患者さんの状態が落ち着いた後は地域の先生方に診ていただくという役割分担が必要です。

地域の中で当院の果たすべき役割をしっかりと認識し、より県民の皆さんに信頼され、愛される病院となるように職員一同努力してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



2020年4月27日

愛媛県立中央病院 院長 菅 政治

【発行】愛媛県立中央病院 松山市春日町83番地 TEL: 089-947-1111



ホームページは
こちらきゃん!



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)にみんなで打ち勝つために！

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) とは、ウイルス感染症の一種で、風邪に似た症状があり、人によっては無症状の方もいますが、中には肺炎で重症化する方もいます。また、無症状であっても、自覚がないまま感染を拡大させる危険性があるといわれています。2003年のSARS（重症呼吸器症候群）や2015年のMERS（中東呼吸器症候群）の原因となったコロナウイルスの一種ですが、まだまだよくわかっていない、新しい指定感染症です。

治療法は、2020年5月現在、有効性が確認された特異的な抗ウイルス薬やワクチンは存在せず、主治医の判断の下、症状に応じた治療が行われます。

新型コロナウイルス感染症の現時点では把握している特徴として、一般的には飛沫感染（くしゃみ、咳、つばなど）や接触感染で感染します。閉鎖した空間や近距離で多くの人と会話する環境下では、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。

次の症状がある人は、新型コロナウイルスに感染の疑いがあります。

- ☆ 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- ☆ 重症化しやすい方（※）で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
(※) 高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方
- ☆ 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合
(症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。)
※下痢や、味覚障害、嗅覚障害などの報告もあります。

詳細は、右のQRコードを読み取り、厚生労働省のホームページをご確認ください。



厚生労働省 HP

感染拡大を防ぐために

1. 咳エチケット

咳やくしゃみが出る場合は、口や鼻をマスクやハンカチで覆ってください。
痰や鼻水は、ティッシュを使用してください。



政府広報オンライン

2. 手洗い

水とハンドソープによってウイルスを減らせます。帰宅した際や、咳やくしゃみをしたとき、鼻をかんだとき、ご飯を食べるときなどは、こまめに30秒程度かけて丁寧に手洗いをしましょう。正しい手洗い方法は、右のQRコードを読み取り、ご確認ください。
NHK特設サイトにも手洗いのポイントを解説する動画が掲載されています。
アルコール手指消毒も有効です。



NHK 特設サイト

3. 3つの密（密閉・密集・密接）を避けましょう

- 「密閉」空間とならないように、こまめに換気しましょう。
- 「密集」しないように、他の人と互いに手を伸ばして届かない十分な距離（2メートル以上）をとりましょう。
- 「密接」した会話とならないように、特に対面での会話や、対面での食事はできる限り避け、避けられない場合は十分な距離をとりマスクを着用しましょう。



当院からのお願い

当院では、感染拡大防止の観点から、入院患者さんへの面会禁止や外来座席数の削減、来院者に新型コロナウイルス感染症に係る調査票の記入をお願いするなど、院内感染防止のために様々な措置を講じております。患者さんやご家族の方には大変ご不自由をおかけしますが、ご理解とご協力を願いいたします。



2020年5月22日現在



整形外科がどのような診療科なのか、ご存知でしょうか？

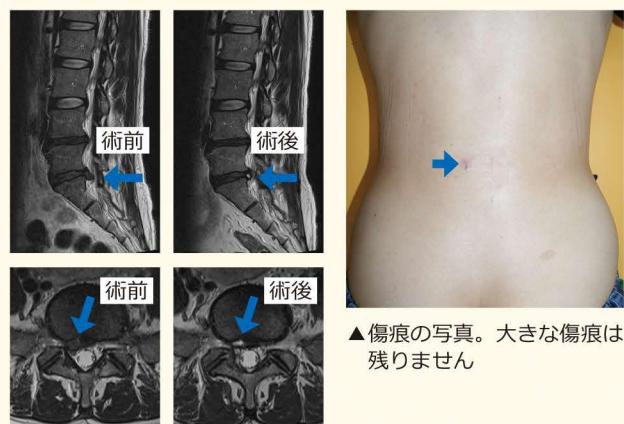
身体の芯になる骨・関節などの骨格系とそれを取り囲む筋肉やそれらをつかさどる神経系からなる「運動器」の機能的改善を重要視して治療する外科で、背骨と骨盤という身体の土台骨と、四肢を主な治療対象としています。

- ・スポーツ傷害、交通外傷、労働災害などに代表される打撲・捻挫・骨折などを扱う「外傷外科」
- ・椎間板ヘルニア・脊柱管狭窄症など背骨や脊髄を扱う「脊椎外科」
- ・変形性関節症・関節リウマチ・痛風などを扱う「関節外科」、上肢を扱う「手の外科」
- ・運動器の腫瘍（いわゆる「できもの」）を扱う「骨・軟部腫瘍外科」
- ・先天性股関節脱臼など運動器の先天異常を扱う「小児整形外科」

以上を中心として、その内容は多様であり、リハビリテーション医学とも密接な関係があります。また、新生児から高齢者まですべての年齢層を対象とする診療科であり、多くの患者さんを診療しています。

脊椎内視鏡手術 (FESS:Full-endoscopic-spine-surgery) を導入！

腰椎椎間板ヘルニアなどの腰椎疾患に対して、皮膚切開は約8mmと小さく、皮膚縫合が不要となる手術を2019年5月より開始しています。2020年4月現在で約50例を行っていますが、術後成績は概ね良好で大きな合併症もなく実施しています。患者さんの負担が少ないため、入院期間も3～4日と短く、手術翌日には歩行訓練ができるため、日常生活に早く戻ることのできる治療となっています。ヘルニアの再発で脊椎固定術を行う必要があった患者さんや全身麻酔での治療が行えない患者さんにも適応する可能性があります。下肢神経痛でお困りの方は、ぜひ整形外科にご相談ください。



▲傷痕の写真。大きな傷痕は残りません

MRI検査

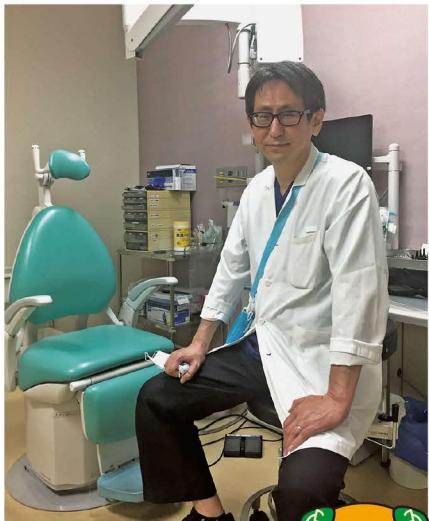
▲ヘルニアによる圧迫が解除されており、回復が確認できます

当院の
ドクターを
紹介します

ドクターズカルテ

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 富所 雄一先生

Doctor



▲外来診察室にて



耳鼻咽喉科・頭頸部外科の富所雄一です。群馬県前橋市出身です。1999年に愛媛大学医学部を卒業しました。当院では、2000年から2003年まで研修医としてもお世話になりました。10年ほど、他の医療機関で勤務した後、2013年からは当院で、頭頸部外科を中心に診療しています。頭頸部癌は食事、呼吸、発声等に影響する疾患ですが、これらの機能温存を心掛けた治療を行っています。

さて、プライベートですが、家には2匹の犬がいます。双子ですが性格は全く違います。1匹（黒）は忠犬で、いつも近くでお座りして、こちらのいうこともよく聞きます。もう1匹（白）は自由な性格で、寄ってくるのはエサの時だけですが、2匹とも大切な家族の一員です。

これからもよろしくお願いします。



▲愛犬のマロとチャロ

当院の
研修医を
紹介します

Resident

2年次研修医
石村 菜穂先生

日常気をついていることは何ですか？

笑顔で挨拶することを心がけています。落ち込んでいるときや疲れているときでも、挨拶をすると前向きな気持ちになれるので、自分から周りの人に挨拶をするようにしています。

興味・関心のあることは何ですか？

休みの日に映画鑑賞をしたり、おいしいご飯を食べに行ったりすることが楽しみです。長期休暇には、旅行に出かけることでリフレッシュをしています。

今後の目標は何ですか？

研修医として働き始めて1年が経ち、環境にも徐々に慣れてやりがいを感じることができます。他の医師やコメディカルスタッフと協力し、患者さんに信頼していただける医師になれるように努力していきたいと思います。



▲麻酔科での研修で濱田先生に神経ブロックの指導をしていただいている様子（本人右側）



▲同期の市川先生と松山城に出かけたときの一枚（本人左側）



中央病院に東洋医学研究所ができたのは、1979年8月20日、今から40年前のことです。公立病院では日本で2番目にできた東洋医学の施設でした。以前は健康増進センター（現在は撤去）の横に建物がありましたが、2013年に場所を管理棟1階に移し、漢方内科鍼灸治療室に名称を変更しました。

治療内容としては、鍼（はり）、灸（きゅう）、刺絡（しらく）の治療を行います。



灸頭鍼（きゅうとうしん）



灸頭鍼という鍼にもぐさ※をつけて温める治療も行っています。鍼は刺してもほとんど痛くはありません。
※ヨモギの葉から作る綿状のもの。

スタッフは、鍼灸師7名（うち研修生5名）、漢方内科医師3名、および事務スタッフ2名です。

刺絡



刺絡はコリや血液の滞っているところから血液を出す治療で、微小循環を改善します。

灸（足三里へ）



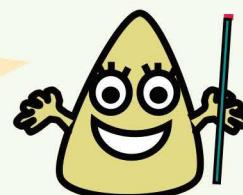
お灸はチクッと熱さを感じる昔ながらのお灸や、間接灸を使用しています。お灸はセルフケアに有用です。

今回の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対して抵抗力をつけるため、足三里のお灸を勧めており、スタッフ自身も据えています。

また、患者さん全てに詳細な問診（時系列分析法）に基づいたツボの治療を行います。そのため、鍼灸初診は1時間30分ほどかかりますが、この問診データは、治療だけではなく、日常生活ケアにも役立つケアマップになります。

鍼灸治療の対象は、夜泣き・夜尿症などのお子さんから90歳を超える高齢者の方々までと幅広く、症状は肩こり・腰痛から、周産期の逆子・母乳分泌などのマイナートラブル、がんなどの難しい病気に対する治療も行っています。

皆さんの周りで、現代医学の適応の隙間で困っている人がいらっしゃいましたらご紹介下さい。



鍼灸治療室
キャラクター
「おきゅうちゃん」

転入・転出医師 (2020.3.31 ~ 2020.5.31)

転入

所属	氏名	専門
救急科	竹内 龍之介	専攻医
麻酔科	相原 法昌	麻酔一般
麻酔科	品川 育代	麻酔一般、小児麻酔
産婦人科	恩地 裕史	専攻医
新生児内科	山内 俊史	新生児集中治療
新生児内科	柏木 孝介	専攻医
小児科	三浦 博允	小児神経、小児一般
小児科	疋田 真貴	専攻医
小児外科	野口 伸一	小児外科一般
消化器内科	黒田 太良	消化器疾患、膵胆道疾患
消化器内科	丸井 香織	消化器疾患
消化器内科	大西 慶	消化器疾患
消化器内科	村上 大晟	消化器疾患
消化器外科	上野 義智	消化器外科全般
消化器外科	脇 悠平	消化器外科全般
消化器外科	中川 祐輔	消化器外科全般
消化器外科	吉川 雅登	消化器外科全般
消化器外科	高木 健次	専攻医
消化器外科	疋田 貴大	専攻医
消化器外科	溜尾 美咲	専攻医
消化器外科	河原田 さくら	専攻医
呼吸器外科	畠地 豪	呼吸器外科
血液内科	後藤 有基	血液全般、栄養管理
乳腺・内分泌外科	畠地 登志子	乳腺・甲状腺
放射線科	喜田 有佳里	専攻医
放射線科	村田 亮洋	専攻医
放射線科	多保 康平	専攻医
泌尿器科	喜多 秀仁	泌尿器一般
泌尿器科	安宅 祐一朗	泌尿器一般
泌尿器科	大久保 玲奈	専攻医
糖尿病・内分泌内科	塩見 亮人	糖尿病・内分泌代謝疾患
脳神経内科	京楽 格	脳卒中、神経難病、総合診療
心臓血管外科	米沢 数馬	心臓血管外科
心臓血管外科	吉岡 一朗	心臓血管外科
整形外科	森実 圭	整形外科一般、手の外科
整形外科	星川 遥	専攻医
整形外科	萬代 雄嗣	専攻医
皮膚科	松立 吉弘	皮膚疾患全般
皮膚科	桑折 信重	専攻医
漢方内科	鶴田 寛二	内科一般
内科	岡部 光	専攻医
内科	大野 広貴	専攻医
内科	加藤 雅也	専攻医
内科	黒河 司	専攻医

転出

所属	氏名
腎臓内科 (院長)	西村 誠明
循環器内科 (副院長)	風谷 幸男
消化器外科 (副院長)	河崎 秀樹
整形外科	日浅 浩成
麻酔科	越智 貴紀
産婦人科	三宅 すずか
新生児内科	渡部 竜助
小児科	吉松 卓治
小児外科	松井 さゆり
腎臓内科	池田 奈央子
消化器内科	壺内 栄治
消化器内科	永松 賢祐
消化器外科	寺奥 大貴
消化器外科	坂本 明優
呼吸器外科	赤尾 恵子
血液内科	兵頭 和樹
放射線科	年森 亘
放射線科	三橋 遼太
泌尿器科	浅井 聖史
泌尿器科	三宅 毅志
泌尿器科	赤澤 早紀
糖尿病・内分泌内科	宮崎 万純
心臓外科	稻荷 真愛
血管外科	一色 真吾
整形外科	大野 尚徳
整形外科	西村 亮祐
整形外科	伊藤 輝人
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	原 和也
皮膚科	吉田 諭
総合診療科	和田 悠
内科	風谷 卓郎
内科	能津 昌平



研修医集合写真

2020年度は、24名の研修医が当院より医師としての第一歩を踏み出します。未永くよろしくお願ひいたします。



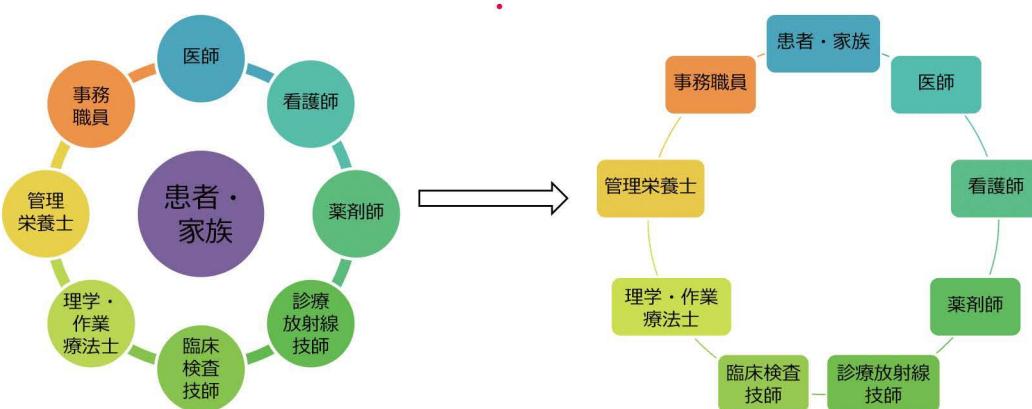
効果的な医療を安心、安全に受けるために

現在の医療はチームで行なう共同作業といわれています。当院では、診療科ごとに医師が小さなチームを組み、患者さんの診療にあたっています。例えば、外来で担当した医師が必ずしも入院時の主治医とならないこともあります。また、入院すると、複数の医師が患者さんに対応するようになります。そして、患者さんの医療には看護師や薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、理学・作業療法士など、たくさんの職種の医療者が関わります。

ラグビーワールドカップが開かれた際に、「ワンチーム」という言葉がはやりましたね。まさに、

医療も「ワンチーム」なのです。そのチームの中には、患者であるみなさんも入っています。身体の状態を一番よく知っている重要なメンバー

です。チームの一員として、治療方針や、治療を進めていく中で発生するリスクを知り、チーム一丸となって病気と闘いましょう。チームにとっての一番の喜びは、患者さんと笑顔を共有できた時ですから (*^。^*)



患者さんやそのご家族もチームの一員です！

医療安全
管理部より
No.43

連携医療機関紹介～第18回～

平松循環器内科

■所在地 松山市湊町2丁目1-12

■TEL 089-943-2570

■診療科目 内科・循環器科

■外来診療時間 休診日 木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	×
14:00～17:30	○	○	○	×	○	×	×

【病院の概要】 松山市の中心部、中ノ川通りに位置しています。県立中央病院からも歩いて来ることができるくらいの近さです。最寄りの目印は、消防署城東支所です。

当院は、1970年当時、松山赤十字病院に勤務していた平松幹敏(初代院長)が開院しました。現在、県立中央病院OBである平松伸一が2代目の院長を務めています。当初は、有床診療所でしたが、現在は無床診療所となっています。

【病院の特徴】 一般内科と循環器内科を標榜しています。診療内容は、主にかかりつけ医としての仕事で、投薬や介護の相談、健康相談、基幹病院(主に県立中央病院)への橋渡しが中心です。特記すべき点としては、心臓ペースメーカー外来と睡眠時無呼吸症候群に対するCPAP外来を行っています。いずれも導入時は県立中央病院に依頼しており、定期は当院でフォローするようにしています。

最近は、高齢者が多くなり、認知症の治療や介護事業者との連携などが増えてきている印象です。

検査治療の多くは、県立中央病院に依頼し、県立中央病院のサテライトのクリニックのつもりで診療しています。今後ともよろしくお願ひします。



医療法人 三宅内科胃腸科

■所在地 松山市土居田町58-3

■TEL 089-932-6262

■診療科目 内科・消化器内科・内視鏡内科・糖尿病内科

■外来診療時間 休診日 日曜・祝日

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	○	○	○	○	○	△ 14:00まで	×
14:00～18:00	○	○	○	○	○	×	×

【病院の概要】 1980年に現院長の父である先代院長が開院し、40年目になる診療所です。2017年に現在の2代目院長が後を継ぎ、開業当時より、地域のかかりつけ医としての役割を担っています。2014年には院内をリформし、バリアフリーとなっていて、車いす用のトイレもあり、ご高齢の患者さんも安心して受診いただけます。

【病院の特徴】 消化器病学会、内視鏡学会、糖尿病学会専門医である院長が、胃腸や肝臓などの消化器疾患や内視鏡検査、糖尿病をはじめとする生活習慣病の診療を行っています。また、入院や手術など必要な場合は、県立中央病院などの基幹病院と速やかに病診連携しています。これからも地域のかかりつけ医として、患者さんに寄り添った診療を心がけてまいります。



当院は、2010年10月29日に「地域医療支援病院」の承認を受けています。

このコーナーでは、紹介・逆紹介によって連携している医療機関を随时ご紹介させていただきます。

(紹介順序につきましては、順不同ですのでご了承ください。)

お読みいただきありがとうございました！次号もお楽しみに！

